

平成 29 年 6 月 1 日

メディアの皆様へ

まちの小さな博物館・里の旅ものがたり館 あっそうか！

オープン・セレモニーのご案内(取材依頼)

一般社団法人 ふんご大野里の旅公社では

来たる6/27(火) 豊後大野市三重町市場の登録文化財建物・麻生家住宅を

再生活用し、標記の「あっそうか！」を開業いたします

そのコンセプトはく小旅行気分で絵本屋へ！>

「あっそうか！」のネーミングは、麻生家住宅への敬意を込め、いつも“気づき”がある

「あっそうか！」との思いを込めました

あっそうか！ では次のようなスペースを準備しています

▶1階に 絵本ショップと授乳室／地域の観光情報コーナー

▶2階に 地域の歴史と文脈を感じ取る小さなライブラリー／企画展コーナー

絵本ショップは常時 1,000 タイトル以上の絵本が並び、小さなお子様連れでも気兼ねなく楽しんでいただけるよう授乳室を設けます。2階の企画展コーナーでは、東京の絵本出版社の協力を得て「のりもの絵本の企画展」(7～9 月)など、小規模ながら特別展示を順次開催の予定です。

あっそうか！ オープン・一般営業は6/27(火)11 時より

これに先立ち、午前10時から簡素なオープニング・セレモニーを行います。メディアの皆様には、是非ともこの様子をご紹介いただきたく、その時間割をご案内させていただきます。なにとぞよろしく願いいたします。

◆オープニング・セレモニー プログラム予定:10 時スタート

①お祝いの言葉(豊後大野市長をはじめ3名程度の皆様に依頼予定)

②テープカットおよび看板除幕

③あっそうか！ 館内お披露目

セレモニー終了 10:30 (一般営業は 11 時より)

お問合せ先:あっそうか！

〒879-7131 豊後大野市三重町市場 1090

Tel 0974-27-4215(fax兼用)

※オープン日までの在館予定→平日/火～金の 10 時半～16 時半

登録有形文化財 麻生家住宅について

- ◎初代の建物は明治期に入ってから大火で焼失しましたが、この建物は明治十年(1887)に新築されました。
- ◎当時は西南戦争のただ中で、この町もその渦中に巻き込まれました。その中でも、新築間もない麻生家住宅では、まだ畳も入っていない二階の部屋に薩摩軍の兵士が泊まったそうです。
- ◎記録では、当時の麻生家当主は、「敗走する薩摩兵士を三国峠まで馬で送っていった」と記され、また、当家に男子がいなかったことから「養子にならぬか」と、いったというほど親交を深めた逸話が残っています。
- ◎この町、豊後大野市三重町市場は、司馬遼太郎「翔ぶが如く」第十巻で次のように紹介されています。
——豊後の三重郷(現・三重町)というのは大野郡の小盆地の集落である。『延喜式』のころからの古駅であり、江戸期には近在の物資集散地として、小さいながらも都市の機能をもち、一般には、「三重市(いち)」と、市の呼称をもってよばれていた——文中抜粋

※下記写真は、5月末の「あっそうか！」開店準備、しつらえ中の写真です。

